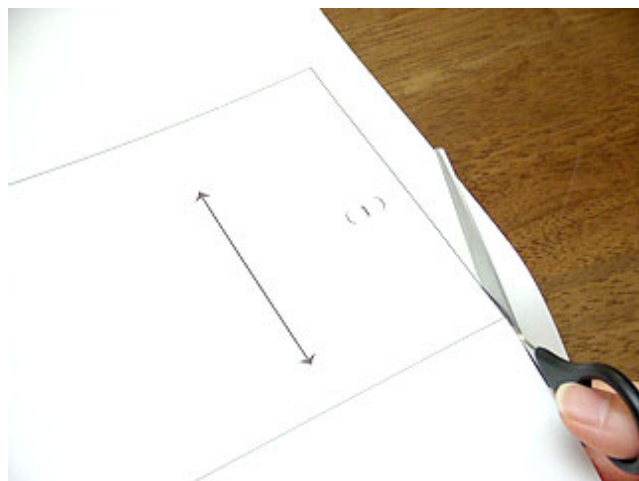


手順

- 1、パターンを切る
- 2、布を裁断する
- 3、印を入れる
- 4、接着芯を裁断する
- 5、接着芯を貼る
- 6、マグネットボタンを取り付ける
- 7、内ポケットを作る
- 8、バッグ本体（表）とマチ（表）を縫い合わせる
- 9、バッグ本体（裏）とマチ（裏）を縫い合わせる
- 10、Dカン付け布を作る
- 11、持ち手をバッグ本体につける
- 12、バッグ本体（表）とバッグ本体（裏）を縫い合わせる
- 13、バッグ底を仕上げる

1、パターンを切る

Peachmadeのパターンにはすでに1センチの縫い代が含まれています。
実線通りに切ります。



2、布を裁断する

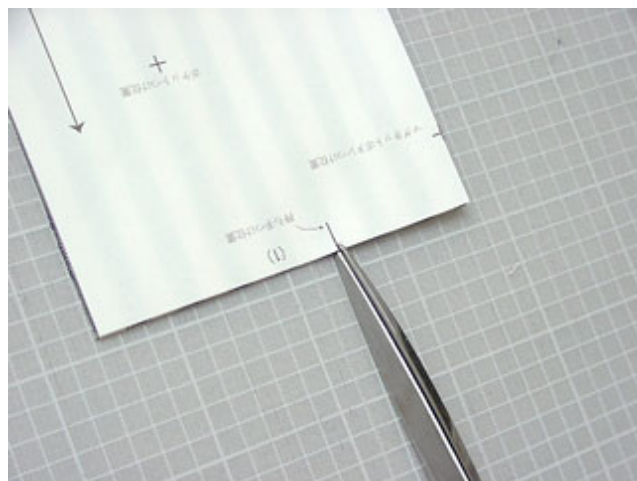
布の上にパターンを置き、裁断します。



3、印を入れる

ノッチ（2～3ミリの切り込み）を入れます。
入れる箇所は、バッグ本体（表、裏）の中央、バッグ本体（表）の「持ち手付け位置」、マチ（表、裏）の中央です。

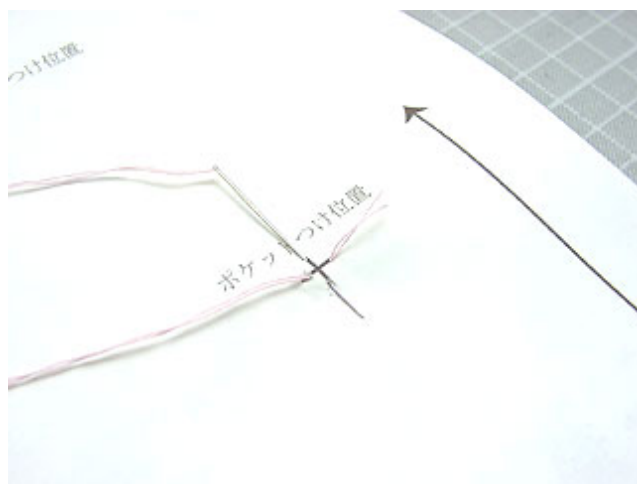
パターンにはノッチを入れる箇所に印が入っています。



バッグ本体(裏)の「マグネットボタン付け位置」と「ポケット付け位置」に糸かチャコで印をつけます。

【ここでは糸で印を付ける方法をご紹介します。】

1、しつけ糸で+に縫い、糸を長めに残して切ります。



2、パターンを生地からはずし、上側の生地を少し上に引き上げます。



3、しつけ糸を3～5ミリの長さで切ります（糸を必要以上に長く残しておくとは逆に抜けやすいので、短めにカットした方がいいです）



4、表側の糸も同じく3～5ミリ残して切ります。

5、その後、アイロンでおさえておくと、しつけ糸が抜けていくようになります。

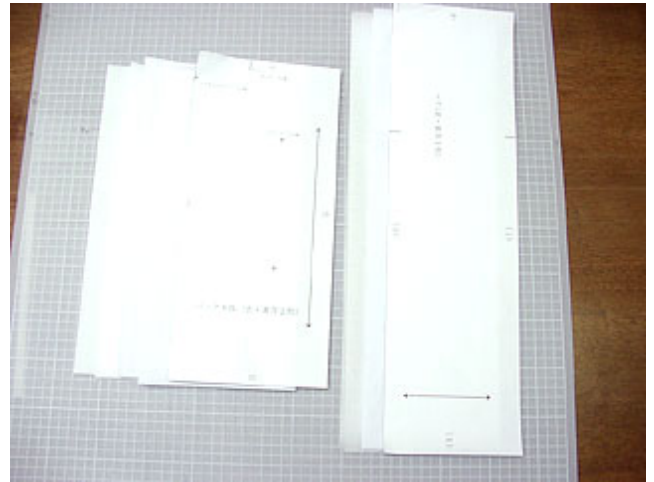


4、接着芯を裁断する

カバン用接着芯は、バッグ本体（表）・マチ（表）、バッグ本体（裏）のマグネットボタン付け位置に貼ります。

表布、裏布共に生地が薄い場合は、内ポケットの上半分とDカン付け布にも薄手の接着芯を貼った方がいいでしょう。

カバン用接着芯と両面接着シートもパターン通りに裁断します。



カバン用接着芯が上手に貼れる場合は、両面接着シートを使う必要はありません。（topics 02「接着芯の貼り方のコツ その2」をご参照ください）

5、接着芯を貼る

両面接着シートを貼ります。貼り方はtopics 02をご参照ください。

次にカバン用接着芯を貼ります。



今回、私が使った裏布は、少し薄手でしたので、内ポケットの上半分に薄手の接着芯を貼りました。

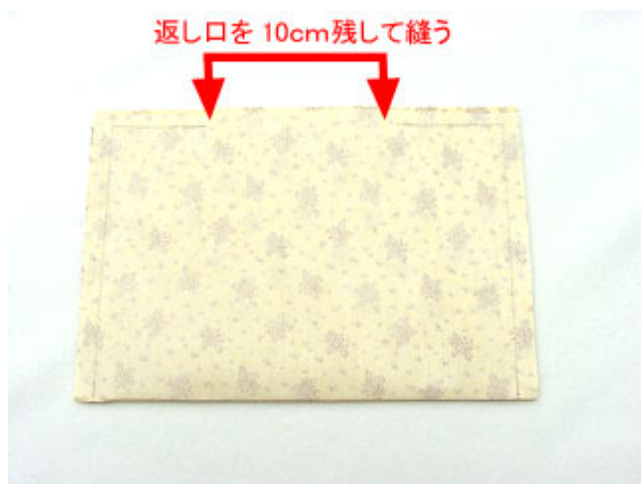
6、マグネットボタンを取り付ける

取り付け方は、topics05「マグネットボタンの取り付け方」をご参照ください。



7、内ポケットを作る

「わ」を中心に中表に折り、端から1センチのところを縫います。（約10センチの返し口を残して縫うこと）



角をハサミで切り落とします



返し口から表に戻します。
目打ちで角を押し出し、角が直角になるようにします。
その後、アイロンをあてて形を整えます。

バッグ本体（裏）に縫い付けます。



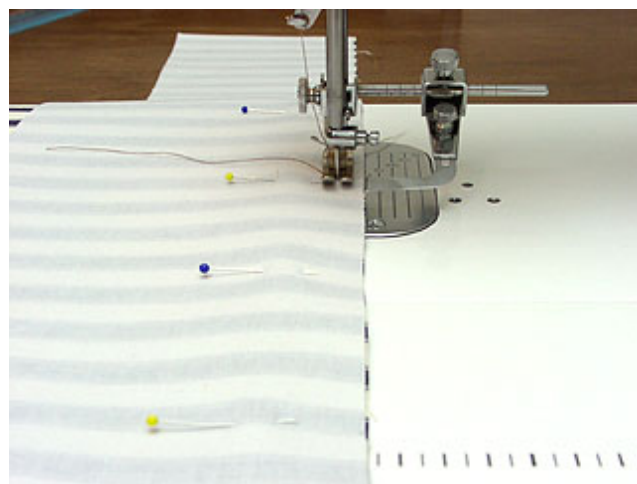
8、バッグ本体（表）とマチ（表）を縫い合わせる

バッグ本体（表）の底辺とマチ（表）を中表に合わせて縫います。

マチ針を底辺中央、両端、中央と両端の真ん中の計5箇所に止めます。

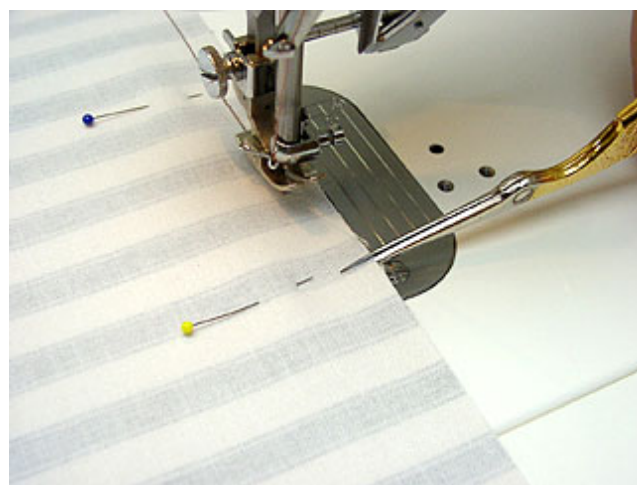


まず、底辺中央から縫い始めます。



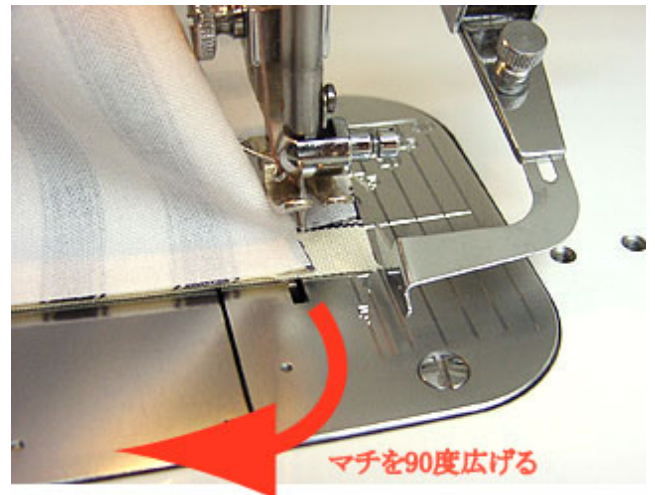
マチをバッグ本体にそわして縫っていく作業に入ります。

マチをバッグの角に合わせて、90度に広げるためには切り込みを入れなくてはなりません。しかし、初めから切り込みを入れておいても、縫っていくうちにズれてくるかもしれないので、ミシンが底辺の端、4～5センチ手前まで来たら、針は布に刺したままで、いったんミシンを止め、角にあたる部分に垂直に1センチの切り込みを入れます。



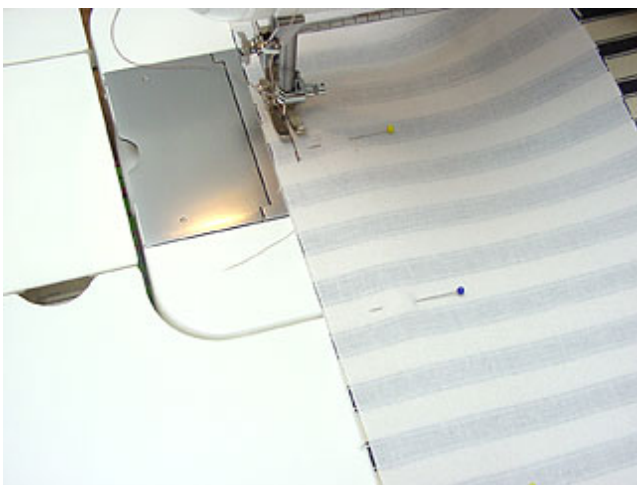
バッグ本体には切り込みは入れません

マチ（表）を90度に広げて、次に、側面を縫います。



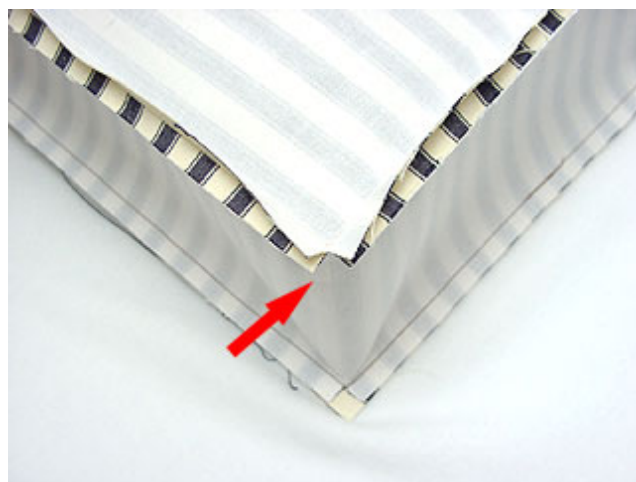
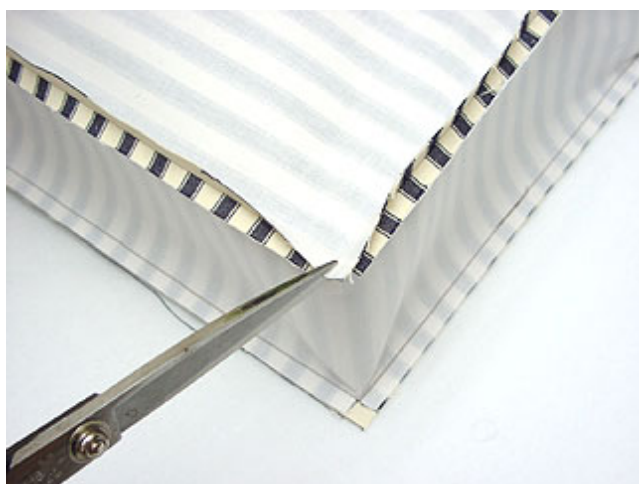
角のアップです。

もう片方の側面も底辺中央から同じ要領で縫います。
(底辺中央の縫い始めは5センチほど重ねて縫います)



マチの反対側にももう1枚のバッグ本体（表）を縫い合わせます。

バッグ本体の角の縫い代（全部で4箇所）をハサミで直角に切り落とします。



縫い終わったら、アイロンでしっかりと縫い代を割りま
す。

ココがポイントです!!仕上がりが違ってきます。



9、バッグ本体（裏）とマチ（裏）を縫い合わせる

表と同じ要領で縫います。ただし、側面に返し口を20センチほど残して縫いましょう。

また、裏布は内回り分だけ布が余りダボつきますので、表より心持ち小さめに縫うといいでしょう。

（生地 of 厚さにもよりますが、端から1.2センチぐらい所を縫うといいと思います）

端から1センチ（裏布の場合は、約1.2センチ）のところを
まっすぐに縫う自信がない場合は、マチにあらかじめ縫う
所に線をひいておくといいでしょう。



10、Dカン付け布を作る



裏面を上にして置きます



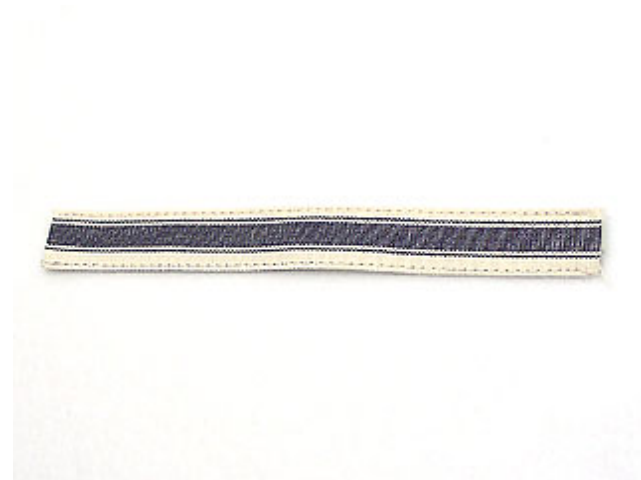
半分に折ります



いったん広げて、今度は両サイドを折ります



さらに、半分に折ります。



両端にミシンをかけます。



4等分にカットします。

11、持ち手をバッグ本体につける

従来のDカン付持ち手とネジカシメ仕様の持ち手では、製作工程が異なります。お使いの持ち手にあわせて該当箇所をご覧ください。



従来のDカン付持ち手をお持ちの方はここからお読み下さい。

DカンをDカン付け布で挟み、カバン本体（表）に荒くミシンをかけて縫いとめておきます。

（持ち手と持ち手の間隔は12センチ）



12、バッグ本体（表）とバッグ本体（裏）を縫い合わせる

カバン本体（表）とカバン本体（裏）を中表にあわせてクリップ（もしくはマチ針）で止めて、口をぐるっと一周縫います。

（端から1センチのところを縫う）



返し口から表に戻します。力が要りますが、思い切って一気にひっくり返しましょう！



返し口をミシンでぬって閉じます。

アイロンをあてて、バッグの形を整えます。



バッグの口の部分にステッチをかけます。

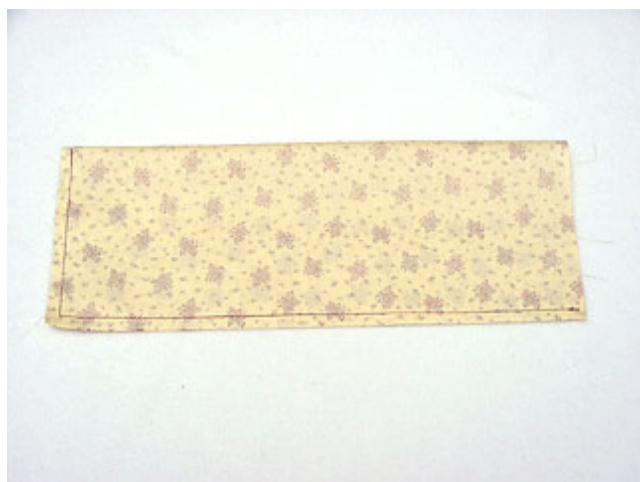


アクセントとして上から4センチぐらいのところにもステッチを入れます。



12、カバン底を仕上げて完成です！

「わ」を中心して、中表になるよう半分に折り、2方を縫います。



縫っていない1方から表に返して、カバン底板を入れます。



口をミシンで縫って閉じます。



カバン底をバッグの底に敷いて、完成です。

ネジカシメ仕様の持ち手を取り付ける場合

1、バッグ本体にDカンをつけます。



UP画像

2、Dカンに持ち手を通します。



3、穴と穴とあわせるように折り曲げます。



4、頭が平らな方のカシメを用意します。





5、持ち手の穴にカシメを入れます。



6、持ち手を裏返して、今度は切込みがある方のカシメを穴に入れます。



7、マイナスドライバーでカシメとカシメを合わせて、締めます。
この時、革が曲げにくい場合はゆっくりと曲げながら根気よくネジを締めてください。



8、完成です。この要領で残りの3箇所も取り付けてください。



「トートバッグの作り方」に記載している内容は、Peachmadeオリジナルの作り方であって、この方法が一般的であるとは限りません。